2009 年度アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名[　長谷小学校　　]　担当教諭[　藤尾美奈子　　]			
児童生徒の学年・クラス・参加人数:[　5年　6名][　6年　4名]			
実施期間:　　2009 年　5 月　～2010 年　3 月			
交流:無　・(有) 国名[インドネシア　] 学校名[ウブド第3小学校　] 学年[　　] 担当教諭[　Winarni]			
実施教科・時数 アートマイルに関連した時間すべて(総合は外国語活動、環境など中身がわかるよう)。必要に応じて行を追加してください。	教科	単元名	時数
	総合	長谷の祭りや自然について 平和への自分たちの取り組み 自己紹介を書こう	2 2 1
	図工	力を合わせて絵を描こう	8
	社会	世界の国々	1

■作品について教えてください。

題(テーマ)	長谷の自然と行事と人々の笑顔
絵に込めたメッセージ	長谷の人々が、お祭りで楽しく笑っているところや、自然がいっぱいの長谷に住んでいる幸せを表現しました。 どの国でも、笑顔が一番なので、笑顔の人々を書きました。また、長谷の自慢の山、花、鳥などを書くことで、長谷らしさを出しました。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	6月	「世界がもし 100 人の村だったら」の本や、動画を紹介し、世界に目を向けさせる。	世界にはいろいろな人が住んでいることをあらためて確認し、外国に興味を持つ子が増えた。世界各地のニュースにも敏感に反応するようになった。	総合・道徳
情報収集	7月	ウブドについて紹介する。 ウブドの民族音楽「ガムラン」の紹介をする。	とても美しいところ、地震がよくある、というイメージがあった。地震の被害が大きかったのか調べようとする子がいた。	総合・音楽 社会
テーマ検討	9月	長谷で「笑顔になれるもの」をイメージし、学校と自然と、祭り、おいしい食べ物という意見が出た。そこからみんなでテーマを考えた。	自分たちのことからイメージしていったので、意見は出やすかった。相手国については、想像をふくらませていた。しかし、まずは自分たちのことをしっかり伝えたいと考えた。	総合
制作	11 月 12 月	まず一人一人、下書きをかき、それを全体図に取り込んでいった。	10人で考えを出し合い、協力して描き上げた。	図工

鑑賞	3月	卒業までには間に合わなかったので、写真で行った。また4月に入ってから次の年度の子どもたちで行った。	ウブドの絵があまりにも上手で、おどろいていた。ウブドに行ってみたくなった。	課外

■学習目標と成果はどうでしょうか？（「重視」には指導にあたって重視したものを1位～5位まで記入を、「先生の手応え」はすべてについて以下の1～5で評価してください。）

（5：とても身についた　4：身についた　3：どちらともいえない　2：あまり身につかなかった　1：まったく関連がなかった）

つけたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
コミュニケーション・スキル	5	3	
情報活用能力（収集・発信）		3	
人間関係をつくる（交流相手・学級内）	4	4	絵の得意な子や、全体を見渡して指示できる子など、友だちのよいところを発見した。
協同作業をする力（役割・段取り）	3	5	色の調合をする子、筆を洗う子、下書きを丁寧にする子など、自然と役割分担ができていった。
異文化の理解	2	4	自己紹介の手紙をみんなで見た時に、色使いが美しくて驚き、描いてある物の違いにおどろいた。
自文化の理解・自分を見つめる	1	5	インドネシアの子どもたちに何を知らせたいか話し合っている時、自分の楽しかった思い出から話が広がっていった。
表現力		4	長谷のよさを伝えるために何を書けばよいか話し合う時に、自分の意見がきちんと言えた。
学習を追究する意欲		3	
作品を鑑賞する力		3	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
自分たちだけで描く絵ではなく、インドネシアのウブドの子どもたちが一緒に描いてくれるというだけで、意欲がぐんと高まった。また、自分たちの地域についてもっと知らせたいと、より自文化について考えるようになった。また、インドネシアからの自己紹介の手紙を見て、絵の色使い、タッチの違いなど、自分たちにはないすばらしい物を見、異文化にふれ、感動していた。	絵を描いている期間中にもっと交流することができたらよかった。しかし、国際交流にはうまくいかないことが多いということも理解できたので、そのことも考えて交流を進められるようにあらかじめ考えておく必要がある。 メールだけでなく、手紙のやりとりをもっと早くからしておけばよかった。また、交流相手が決まった時点で、日本のおもちゃや文房具、伝統の物などを送り、物で交流することもできた。

■アートマイルに対する校内・保護者や地域の方の反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報の機会	校内・保護者や地域の方からの反響
5・6年生が作成した物を、全校生に見せると、その子どもた	「インドネシアに行ってみたい」という保護者もいた。

ちの中にも、インドネシアについて調べ始める子ができた。 （半分の絵が仕上がった時点で、全校生に披露する。） インドネシアから戻ってきた絵は、入学式の日からPTA総会の日まで体育館に展示した。	インドネシアの絵から「南の国」をイメージする。芸術のまちウブドについて、保護者も一緒に想像をふくらませてもらった。 低学年の子どもたちも世界地図に興味を持った。

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

ウブドの子どもたちのすばらしい絵にふれさせて頂き、本当に感動しました。今までに見たこともないようなタッチの絵で、いろんな意味で勉強になりました。 一緒に作り上げた喜びを味わわせて頂き、子どもたちもとても喜んでいました。その絵がピラミッドに飾られるのを楽しみにしています。 お世話になった方々に感謝申し上げます。